



JUNBA 臨時総会・理事会(第 179 回)議事要旨

日時: 令和 5 年 11 月 16 日(木)16:00~17:15

場所: 日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センター(オンライン)

出席者: 14 名

【理事】 桜美林大学(丸山会長)、名古屋大学(神山理事)

【事務局】日本学術振興会(中別府事務局長(兼常務理事)、池田副センター長、田邊、Abby Hughes)

【会員/オブザーバー】大阪大学(秋山、東澤)、名古屋大学(岡田)、早稲田大学(眞谷)、東京大学(青木)、立命館大学(三宅)、US-Japan Forum(井手)、大学改革支援・学位授与機構(豊嶋)

1. 会長挨拶(丸山マリ会長)

2. 事務局からの事務連絡

(1) 前回理事会の議事要旨について

事務局から、事前に共有された資料について、追加・修正等の意見が無かったことについて説明があり、原案どおり承認された。

(2) その他

事務局から、JSPS の利用している Proself というプログラムを通してそこに保存されていた個人情報(JUNBA セミナー参加者名簿)が外部に漏洩してしまった旨報告、謝罪、及び今後の取り扱いについて説明があった。

3. 臨時総会

(1) JUNBA 会則の改正について

事務局から、JUNBA 会則の改正について、事前に共有された資料に基づいて、変更点についての説明があり、原案どおり承認された。

4. 理事会

2024 年に予定されている JUNBA20 周年の位置づけについて、どういった趣旨で開催するのかについて議論された。議論の抜粋については以下のとおりである。

神山理事: 名前が変わったということがポイントになる

丸山会長: ネットワーキングが目的の団体であるだけに、NAFSA 期間(New Orleans, LA 5/28-31)に JUNBA のレセプションのようなかたちで JUNBA の 20 周年イベントを夕方に開催してはどうか

大阪大学:NAFSA への出張は計画しづらい

早稲田大学:NAFSA へは東京からは参加していないが、サンフランシスコからの参加は可能と思われる。JAFSA と JAPAN SIG も毎年レセプションを計画しているので、タイミングをずらしたり、連携することを提案したりする方がいいのではないか。

神山理事:JAPAN SIG がどういったことを計画しているのか確認してみたほうがいいのではないか。

丸山会長:2025 年開催とした方が準備をしやすい。2025 年に開催するのはどうか。なお、12 月初旬までに予算を決定しなければならない関係で今決定しなければならないが、2024 年開催として今テーマ等を決めるのは少し難しいと感じる。

大阪大学:2025 年に大きいイベントを企画するなら、2025 年自体が何周年という意味を持つわけじゃないため、2024 年には 20 周年を記念する何かを企画したほうがいいと思う。

事務局:JUNBA 発足 10 周年を記念してのイベントは 2016 年に実施している。なお、JUNBA の前身が 2004 年に発足しており、JUNBA としては 2006 年に会が立ち上がった。

上記の振り返りにより、2026 年に 20 周年イベントを実施することとした。また、2026 年のイベントの企画については、2024 年の総会で直接会った際に一度話をする事とした。

また、次回以降の会議では、事務局が連絡を取れていない会員校についてどのように対応するか、話し合う必要性について確認した。

次回理事会の日程:令和 5 年 12 月 21 日 (木) 16 時 00 分～ (PST)

12 月 21 日 (木) 19 時 00 分～ (EST)

12 月 22 日 (金) 9 時 00 分～ (JST)